

序章 一葉のレポートが地震予兆の未来を変える

- 的中率94%! 大地震発生を一週間前に予測 18
- 大地震は発生の数週間前から地殻が変動し、限界値を超えた瞬間に起きる 19
- 1週間前に巨大地震を予測できれば事前対策が可能になる 20
- 御嶽山噴火を想定外としたが、火山研究家は前兆を掴んでいた 21
- 富士山噴火が現実味を帯びてきた 23
- 11月22日に発生した長野県北部の震度6弱は日本列島断層を活発化した!? 24
- M4以上の震源地のデータと国内約1300ヶ所の電子基準点の変動データを統合 27
- 定説「巨大地震の前兆はつかめない」を一民間人が覆す 29
- 津波予想の発表があれば、これほど多くの犠牲者を出すことはなかった 30
- 政府は早急に防災・減災対策を講じるべき 32

第一章 『東日本大地震』を1週間前につかんでいた

- 東日本大震災の震源地に最も近い南三陸町に向かった 36
- 東北自動車は寸断、真つ暗闇の中を突き進まねばならなかった 37
- 中三の息女は卒業式を辞退、未曾有の被害にあった東北支援を選択した 39

- 予想に反し、被災者から元気をもらった 40
- 「もし地震予測情報が事前に公表できていれば……」 42
- 陸前高田市街は数軒のバラック建物を残し、何もなかった 43
- 親族50人中30人が亡くなった 45
- 地震が来たら、着の身着のまま高台に逃げる! 46
- 「嘘でもいいから、『大津波が来る!』と言ってほしかった」 48
- 「正しいと思ったことは、ルールを破つてでもやる!」 49
- 広島に落とされた原爆約3万2800個分のエネルギーが襲った 50
- 2004年以降、超巨大地震が環太平洋を中心に多発し始めた 52
- 東日本大震災予測データはそのまま放置にされてしまった 54
- 研究者用GPSデータの精度は100分の1cmまで向上した 57
- 内部告発「わが国の地震観測網は数十年にわたり予知を行ったことすらない」 58
- 「予知計画は予算獲得のためのスローガンでしかない!」 62
- 予算獲得のための地震予知では、国民の命を救えない 65
- 仮想の地球モデルを構築、その上に毎週の地殻変動値を蓄積した 67
- 地震予測を的中させる解析方法とは? 69
- 地殻変動解析だけの予測では不十分 71
- なぜ、地震学者は地殻変動解析を考えたのかわかったのか? 72
- 県の防災局が放置するようなデータでは意味がない 74
- 「緊急地震速報」の開発者が地震予兆システムに衝撃を受けた 75
- 有力者が手弁当で名を連ねるセンターの体制 77

第二章 G N N S 解析で見えてきた巨大地震の正体と行方

- 大地震の直前、地殻変動が起きている 80
- 東日本大震災当日、地殻は5mも太平洋側に引つ張られた
マントルは対流にのって東西に年間10cm移動している 83
- 2004年から環太平洋は地震の活動期に入った 87
- 1965年頃、東太平洋海嶺で史上最大の大噴火が起きていた
環太平洋は2004年を境に巨大地震の活動期に入った 91
- 『日本列島断層』は巨大地震の巣窟だった 92
- 大地震の80%で震源周辺の前震が観測されている 95
- 巨大地震、富士山爆発はいつ起こるのか? 98
- 浦賀水道で地震が発生すると、翌年関東大地震が起こる可能性が高い
父島、三宅島……富士火山帯の地殻変動が増加している 103
- 3・11後、富士山の地下400kmの火山帯にダメージを受けた
『宝永噴火』では東京ドーム560杯分の火山が降り注いだ 106
- 火山灰が首都圏に降ると、電子機器類が使えない!? 111
- 富士山は2015年3月までに噴火する!? 112
- もう政府の「想定外」という、言い逃れは聞きたくない
日向灘で巨大地震が発生する可能性が高い 115
- 御嶽山噴火の次は、白根山、焼岳、富士山が危ない 121
- 「地震予兆解析レポート」は緊急地震速報と連動し、安全確認も可能 125

第三章 防災都市造りを急げ!

- 東日本大震災は、869年の『貞観地震』に酷似している
M9クラスの巨大地震で浜岡原発の原子炉は水没する 130
- 津波の停電によってメルトダウンを起こす!? 133
- 政府、財界が推進する原発再稼働をストップせよ! 134
- 「東京五輪までに首都直下型地震が起きる確率は100%」の真実味
東日本大震災の直撃を受け、今日の日本は危険な状況にある 137
- 東京五輪の開催は、景気上昇どころか財政悪化を招く 139
- 都内のマンション1万3000棟が倒壊する!? 141
- 「最後は東京湾が火の海になる」 144
- 東京23区は震度6強で木造家屋の9割が倒壊、炎上する!? 146
- 巾30cmの、カミソリ堤防が決壊すれば、ゼロメートル地帯は水没する!?
消防ヘリと消防飛行艇を導入すれば、多くの人命を救える 152
- 生活者の直感を無視する国は滅びる 154

第四章 B C P 計画を加速させる企業

- 地震予兆解析レポートを採用する企業・団体の声
「社員の人命を護るのは経営者として当たり前」(大手不動産会社元役員) 158

「絶対にはしい情報」(外資系グループ危機管理担当) 160
「レポートのおかげで安心して生活できる」(某国大使館大使) 162
「安全・安心のためにはどんな災害情報でも逃してはならない」(大手不動産執行役員) 167
「地震予測的中、これは本物だ」(大手デベロッパ総務部) 165

第五章 地震予知は日本ができる最大の国際貢献

2〜3年で台湾の地震予兆は可能 172
「大学とも提携して技術指導を強化したい」 173
地域のクリニックや商店街と連携、高齢者にも伝わる手段を 174
日経新聞が大地震発生仮想ルポを掲載 175
世界的にも直前予知が成功したのは、中国の海城地震のみ 178

終章 Xデーに備え、防災・減災対策を！

富士山噴火と巨大津波が首都圏を襲う!? 182
早急に首都圏の防災対策を！ 184

特別付録Ⅰ 『火山噴火防災マニュアル』

富士山噴火で神奈川県西部中心に3県47万人の避難が必要 188
●噴火対策には何を準備すれば良いのか? 189
●住まいの近くの火山を調べるには 190
●30km圏外の避難先を決めておく 190
●火口から100km圏内の人に必要な対策 190
●降灰の前に備蓄しておくもの 191
●降灰直前にすること 192
●降灰が起きてからすること 192
●灰の清掃作業 193

特別付録Ⅱ 『地震予兆解析レポート』の實力！

外資の金融機関が採用を決めた内部資料を公開